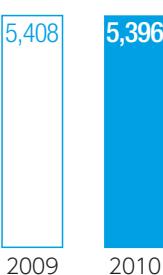
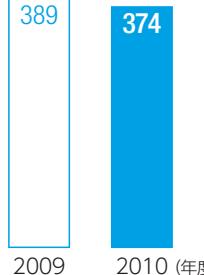
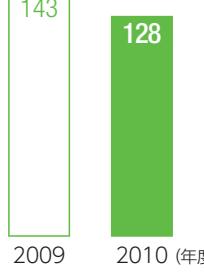
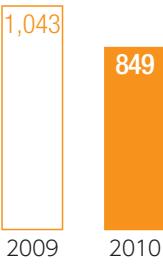
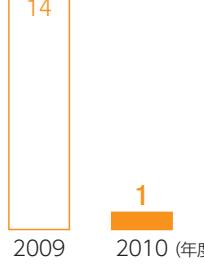


事業概況

主要製品の販売状況	
<p>情報機器事業</p> 	<p>ドル、ユーロともに円高による為替の影響を受けて減収減益</p> <p>オフィス分野: 複合機(MFP)は、国内外の緩やかな景気回復が続く中、「bizhub(ビズハブ)」シリーズのカラー機及びモノクロ機が欧米の主要市場で堅調に推移し、販売台数は前期を上回りました。更に、新興国専用モノクロ機が中国市場を中心にシェアを拡大しました。</p> <p>プロダクションプリント分野: 新シリーズ「bizhub PRESS(ビズハブ プレス)」のカラー機を市場に投入し、デジタル商業印刷市場の本格的開拓に乗り出しました。これらの新製品が欧米市場で好評を博し、カラー機、モノクロ機を合わせた販売台数は前期を上回りました。</p>
<p>オプト事業</p> 	<p>TACフィルムは堅調に推移したものの、メモリー分野、画像入出力コンポーネント分野が伸び悩む</p> <p>ディスプレイ材料分野: 主力製品である視野角拡大用VA-TACフィルムは、供給先となる液晶パネルメーカーの生産調整が昨年10月を底に回復基調に転じたことなどから、堅調に推移しました。</p> <p>メモリー分野: 光ディスク用ピックアップレンズはブルーレイディスク用、HDD用ガラス基板は高記録密度対応製品がそれぞれ牽引役となり、販売数量は前期を上回りました。</p> <p>画像入出力コンポーネント分野: デジタルカメラやビデオカメラ向けレンズユニットが前期を上回る好調な販売となった一方で、カメラ付き携帯電話向けは前期を下回りました。</p>
<p>ヘルスケア事業</p> 	<p>デジタル機器は伸長も、フィルムの販売減少や為替影響を受ける</p> <p>デジタルX線画像診断領域では、国内外の医療施設に向けて、デジタルX線画像読取装置「REGIUS(レジウス) MODEL 110/210」を中心にCR、DR、画像診断ワークステーションなどの販売拡大に注力しました。その結果、デジタルX線画像診断用の販売台数は国内外で前期を上回りました。</p> <p>※ これまで「メディカル&グラフィック事業」に区分していた商業印刷及びデジタル印刷関連事業を「情報機器事業」へ集約しました。この再編に伴い、報告セグメントの名称を「メディカル&グラフィック事業」から「ヘルスケア事業」に変更しました。</p>

売上高構成比	売上高(億円)	営業利益(億円)	主要製品	使われているコア技術
 売上高構成比 69.4%	 2009: 5,408 2010(年度): 5,396	 2009: 389 2010(年度): 374	<ul style="list-style-type: none"> 複合機 (MFP) レーザープリンター デジタル印刷システム デジタル色校正システム 	機器: 画像処理、プロセス、搬送 トナー・感光体: 機能性有機材料合成、 機能性有機材料設計、機能性微粒子形成
 売上高構成比 16.7%	 2009: 1,367 2010(年度): 1,298	 2009: 143 2010(年度): 128	<ul style="list-style-type: none"> 液晶偏光板用TACフィルム 光ディスク用ピックアップレンズ HDD用ガラス基板 マイクロカメラモジュール 	TACフィルム: 機能性有機材料設計、機能性微粒子形成、 製膜・コーティング 光学コンポーネント: 成型、表面加工、光学設計、精密駆動 HDD用ガラス基板: 表面加工
 売上高構成比 10.9%	 2009: 1,043 2010(年度): 849	 2009: 14 2010(年度): 1	<ul style="list-style-type: none"> デジタルX線画像診断システム デジタルマンモグラフィー 医療用画像診断ワークステーション 医療用画像ファイリングシステム 	医療機器: 機能性微粒子形成、 製膜・コーティング(CRシンチレータ)、 画像処理

※2009年度の数値は印刷分野の数値を含みます。